

百の論より大切なもの

—アミタグループ東北オフィス開設 1 年によせて

関西電力は 2012 年 7 月 1 日夜、大飯原子力発電所 3 号機の再稼働に向け、原子炉を起動しました。6 月 29 日には、20 万人(主催者発表。警視庁発表 1 万 5 千人)のデモが、首相官邸を取り囲みました。

我々は、未来の子どもたちの尊厳を守る岐路に立っています。

原発を推進すれば、未来は守れるのか？

原発に反対して、化石燃料に頼れば未来は守れるのか？

原発や化石燃料に反対して、自然エネルギーだけで現在のような社会の豊かさを守れるのか？

小さな諦めが大きな停滞を生んでいるこの日本で、

アミタグループは、21 世紀を『自然産業の世紀』と定義し、

東北をはじめ全国で具体的なモデルづくりにこだわっています。

この混沌とした時代に生きている当事者になって、

未来の子どもたちが尊厳を持ち続けられる社会デザインを届ける役割を

仕事として完成させることが、本当の時代づくりだと思うのです。

アミタグループ東北オフィスの開設から、7 月 11 日でちょうど 1 年。

私たちは、「百の論より一個の証拠！」を合言葉に

未来デザインを思考して、実行していきます。

2012 年 7 月 11 日

アミタホールディングス株式会社

代表取締役会長兼社長 熊野英介